

認知症の症状は病気の進行により変化し、症状の変化により必要な支援も変わります。個人差がありますので、今後の経過により変化する症状や状態の目安としてください。認知症かなと思ったら早めに相談し、その進行状況に合わせて必要な支援を受けましょう。

気づき

重度

認知症の経過	自立 健康	MCI (軽度認知障害)	認知症を有するが日常生活は自立	誰かの見守りがあれば日常生活は自立	日常生活に手助け・介護が必要	常に介護が必要
本人の様子 の例	 <p>チェックしてみましょう!</p>	<ul style="list-style-type: none"> 物忘れが増えてくるが、自覚がある。 新しいことがなかなか覚えられない。 計算間違いや事務処理のミスが増える。 物や人の名前が出てこない。 料理、片付け、計算、運転などのミスが多くなった。 しまい忘れ、置き忘れが多くなる。 	<ul style="list-style-type: none"> 「物がなくなった」「物が盗まれた」ということが増える。 頭の中に霧がかかったようだ。 約束が思い出せない。 物事を覚えられない。 失敗を指摘すると怒りだす。 作り話などで取り繕うようになる。 忘れることは多いが、日常生活は自立している。 趣味や好きなものに興味を示さなくなった。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣れた道を迷ってしまう。 妄想が多くなる。 食事やトイレがうまくいなくなる。 季節にあった服装や着方がわからない。 ついさっきのことも忘れる。 時間や日時、場所がわからない。 すぐ興奮する。 服薬管理ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 表情が乏しくなる。 排泄の失敗が増える。 意思疎通が難しくなる。 (言葉でのコミュニケーションが困難) 歩行が困難になる。 家族など身近な人の顔がわからなくなる。 食事や入浴など一人でできなくなる。 	
ご自身や 家族の 心構え	<ul style="list-style-type: none"> 認知症や介護保険のことを学ぶ機会を持ちましょう。 今後の生活設計について考えておきましょう。 健康づくりや介護予防を行いましょう。 地域とつながり、積極的に社会参加しましょう。 定期的に健診や検診を受けましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> いつもと違う、何か様子がおかしいと思ったら、早めにかかりつけ医や地域包括支援センターに相談しましょう。 できないことを責めず、本人の気持ちに寄り添いましょう。 親戚や親しい友人など周囲の人に病気のことを伝えておきましょう。 今後の生活について本人と家族全員で話し合っておきましょう。 家族の連絡先を分かるようにしておきましょう。 介護に失敗しても、自分を責めないようにしましょう。 社会参加や今までの活動を継続できるように考えましょう。 戸惑いや否定の気持ちをひとりで抱えず相談しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 介護者自身の健康管理をしましょう。 介護サービスを上手に利用しましょう。 家族の集いの場等に参加し気分転換をしましょう。 介護者自身の生活を大切に、社会とのかかわりを絶たないようにしましょう。 介護で困ったことがあったら、抱え込まずにケアマネジャーや地域包括支援センターに相談しましょう。 	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活でできないこと（食事・排泄・清潔を保つなど）が増え、合併症を起こしやすくなることを理解しておきましょう。 急激な体調の変化に備え、かかりつけ医と相談しておきましょう。 		
相談窓口	<p>認知症かなと思ったら早めに相談しましょう!</p>	<p>地域包括支援センター ※お近くの地域包括支援センターにご相談ください ⇒ (表面参照)</p> <p>若年性認知症コーディネーター TEL019-652-7411 (岩手医科大学附属病院 基幹型認知症疾患医療センター直通)</p> <p>居宅介護支援事業所 (ケアマネジャー)</p>				
医療	<p>お医者様に相談するのもOK!</p>	<p>受診 (まずは、かかりつけ医に相談しましょう)</p> <p>認知症についての相談や治療を行っている市内医療機関</p> <p>認知症疾患医療センター</p>				
見守り 生活支援	<p>高齢者等終身サポート事業</p> <p>以下のような支援を行う民間サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> 病院への入院や介護施設等への入所の手続き支援 日用品の買物などの日常生活支援 葬儀や死後の財産処分などの死後事務 	<p>民生委員・ご近所福祉スタッフ</p> <p>配食・見守りサービス事業</p> <p>日常生活用具の検討 ⇒ (裏面参照)</p> <p>日常生活自立支援事業 (地域福祉権利擁護事業) ・成年後見制度 ⇒ (裏面参照)</p> <p>はいかいSOSネットワーク事業 (裏面参照)</p>				
介護保険 サービス		<p>要介護認定の申請</p> <p>居宅介護サービス (裏面参照)</p> <p>入所サービス (裏面参照)</p>				
本人家族 支援	<p>「本人の意志が尊重され、望む生活の継続」を目指しています。</p>	<p>認知症本人同士交流会・家族会・家族介護教室・認知症カフェ・チームオレンジ事業 ⇒ (表面参照)</p> <p>在宅寝たきり老人等介護用品給付事業 (裏面参照)</p> <p>その他のサービス (介護保険外)</p>				
介護予防 交流の場	<p>予防も大切!</p>	<p>一般介護予防事業 (よさってくらぶなど)</p> <p>元気応援型通所サービス</p> <p>交流の場 (老人クラブ・ふれあいいきいきサロンなど)</p>				
住まいの 支援		<p>高齢者および障がい者にやさしい住まいづくり推進事業費補助金 (事前の申請が必要ですので、担当ケアマネジャー等へ相談してください)</p> <p>高齢者向け住宅 (ケアハウス・有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅)</p>				

受診方法

県内の認知症サポート医を確認することができます。

岩手県 認知症サポート医

検索

まずは、かかりつけ医を受診

定期的な
診察・診断

専門医に紹介

- ①精神科医療機関
- ②神経内科、脳神経外科
- ③認知症サポート医

診断・
集中治療

受診するときには、
「いつ頃からどんな症状
なのか」をメモし
持参しましょう。

専門医に紹介

認知症疾患医療センター
【基幹型】岩手医科大学附属病院
【地域型】医療法人社団創生会 おとめがわ病院

※かかりつけ医がない場合、かかりつけ医の受診が難しい場合等、地域包括支援センターに相談してください。